

題材の目標

- (1) さまざまなデザインの「装飾性・伝達性・機能性」を考え、生活の中に生きるデザインの有用性や役割について理解することができる。
- (2) 作者の意図と工夫が、デザインの「装飾性・伝達性・機能性」と生活を豊かにする美術の働きなどを合わせて鑑賞をすることができる。
- (3) 生活の中にあるデザインに気付き、そのデザインの担う「装飾性・伝達性・機能性」を見つけようとする。

標準的な展開例

【準備等】 ワークシート、タブレット端末、筆記用具

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 生活の中にあるデザインを認識し、生徒同士で話し合う。</p> <p>★デザインが果たす役割とは何だろう。</p> <p>○教科書の作品について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライト (ポール・クリスチャンセン) ・うなぎ屋ののぼり ・バスケットボール用の車いす <p>○生活の中のデザインをタブレット端末で探し、「装飾性・伝達性・機能性」の観点ごとに分け、生徒それぞれの生活様式を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中にあるデザインを想起させる。 ・それぞれの作品のよさを話し合う。それぞれのよさが「装飾性・伝達性・機能性」につながっていることに気付かせる。 <p>【評】 さまざまなデザインの「装飾性・伝達性・機能性」を考え、生活の中に生きるデザインの有用性や役割について理解する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 作者の意図と工夫が、デザインの「装飾性・伝達性・機能性」と生活を豊かにする美術の働きなどを合わせて鑑賞をする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「装飾性・伝達性・機能性」の観点で生活の中のデザインを見直すことで、生徒それぞれの大切にしている感性が分かる。伝え合うことで、互いのことをより知ることができ、他者理解にもつながる。 <p>【評】 生活の中にあるデザインに気付き、そのデザインの担う「装飾性・伝達性・機能性」を見つけようとする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本題材では、生徒それぞれがさまざまなデザインに囲まれて生活していることに気付き、今後の制作の意欲付けにしていくことを目的としている。「装飾性・伝達性・機能性」を観点として生活を見直すことで、生活の中のデザインに気付かせていきたい。また、生徒間で意見を共有することにより生活様式の多様性にも気付かせていきたい。